

「大和川一斉清掃」 知事メッセージ

平素は、本県の河川行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、本日は『大和川一斉清掃』を実施するにあたり、多数の方々にご参加いただき誠にありがとうございます。

県では、平成20年に、7月第三月曜日「海の日」を「奈良県山の日・川の日」として、条例で決めました。

海に面していない奈良県にとっては、川は貴重な水辺であり、大切な財産です。

「大和川一斉清掃」は、国土交通省や大阪府、市町村、そして地域の活動団体の皆様と連携して、大和川の流域が一体となって、美化活動を展開しているもので、きれいな川を取り戻し、次の世代に引き継いでいこうという「奈良県山の日・川の日」条例の趣旨にふさわしい、大変意義深いものと考えております。

また県では、平成20年に関係機関と「大和川清流復活ネットワーク」を設立し、地域の活動団体の皆様とも連携して、水質改善に取り組んできました。その結果、全国水質ランキングにおいて、平成22年には、初めてワースト3からの脱出を果たしました。

このことは、大和川一斉清掃のような流域が一体となった取組みの賜と考えており、今後もより一層拡がることを期待するところであります。

なお、一昨年は平城遷都1300年祭を成功裡に終えることができ、多くの方々に奈良へお越しいただきました。

本年は古事記が完成して1300年の記念すべき年であり、日本書紀が完成して1300年となる2020年までをつなぐ9年間、「記紀万葉プロジェクト」を展開することとしており、今後も県内の川を、今以上に美しい姿にして多くの方々をお迎えしたいと思っております。

最後になりますが、これからも美しい奈良の景観づくりのため、より一層皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年3月4日

奈良県知事 荒井正吾